

岐阜聖徳学園大学 外国語学部カリキュラム・ポリシー

岐阜聖徳学園大学では、建学の精神にのっとり宗教的情操を基調として、幅広い教養と専門的知識、技術を身につけた社会に有為な人材を育成することを目的に教育課程を編成しています。教育課程は各学部で独自に編成されますが、建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講しています。

外国語学部では、学位授与方針に掲げた人材を育成することを教育課程編成の基本方針とし、1年次から英語・中国語等の実践的語学教育を行い、また幅広い分野の教養基礎科目を通じて知識・理解力を深めさせた上で、2年次に英米語コース、中国語コースの選択を行わせます。

英米語コースでは、1年次から3年次まで必修の能力別少人数クラスを設置し、英語コミュニケーション能力の基礎を固めると共に、これを補完する多様なコミュニケーション関連の選択科目によってさらなる能力の向上を目指します。また、英米文学、英語学等の講義科目を通して知的能力を育成し、異文化理解、就職・資格支援科目によって卒業後の進路に向けた実践力を涵養することを狙いとします。

中国語コースでは、上記の英語コミュニケーション能力に加え、1年次から3年次まで設置されている必修の中国語コミュニケーションクラスにおいて、中国語の基礎能力を固めるとともに、これを補完する多数の中国語学・日本語学関連の必修・選択科目によってさらなるコミュニケーション能力と専門的教養との向上を目指します。また、中国思想・中国文学等の講義・演習科目を通じて異文化理解を深め、就職・資格支援科目によって卒業後の進路に向けた実践力を涵養することを主眼とします。